2017年10月度役員会議事録

日時：2017年10月30日(月)18：00～19：00
場所：サンピアセリーズ
参加者：横田副会長、今井、横山、濱渦、兵頭、岡林
議題
議題Ⅰ：耐候性鋼板橋梁の腐食について
㈱第一コンサルタンツの前田氏より、本年度の総会で講演した鋼橋の勉強会の続きとして、大手鋼材メーカの技術者を講師に招き、「耐候性鋼材橋梁の腐食」についての講演会を開催したい旨、原田会長に相談があり、山口県の視察に同行した安芸土木の森下氏に連絡をとり、11月21日(火)または22日(木)に会場の仮押さえを森下氏が行ってい頂いた。講師は前田氏に一任し、プログラム等作成準備をしていましたが、講師への謝礼金および旅費の問題が発生し、現在計画が止まっている。そこで、高知県コンクリート診断士会の役員会にこの件を諮ることとなった。
現在の財政状況では旅費等を捻出するのは非常に厳しい、鋼橋の勉強は当然継続的に行うべきと考えるが、今回はスケジュールが非常にタイトで事務処理を含め対応できない旨の意見が挙げられた。
当会としては、非常に残念ではあるが、今回は見送ることになった。しかしながら、コンサルタンツ協会や橋梁会等が主催して頂けるのであれば協力をする。また、技士会に対しても講習会の斡旋を考えることにした。

議題Ⅱ：コンクリート構造物の品質確保マネジメント研究小委員会　成果報告会（高松会場）および四国における品質確保に関するシンポジウム　【土木学会主催】について
香川高専の林先生を中心として、「四国におけるコンクリートの品質、耐久性確保」について活動を行っている。その中で表記の講演を行うこととなった。現在費用の面に於いて苦慮しておりスポンサーを募集している。現時点では四国土木施工管理技士会連合会、香川県砕石事業協同組合、香川県生コンクリート工業組合が協賛することになっている。
講演会の内容および講師は「山口方式」において尽力された方々および「コンクリート革命」の執筆者で構成されており、細田先生は本年度の「コンクリート技術研修会」にて講師を務めてい頂いております。当会として協力できることは、参加者を募ることであるとし、会員宛に募集案内を送ることとした。案内は広報の岡林氏がメール送信を行い、参加希望者は㈱CDRｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ（原田会長）宛にFAXにて申込みを行う。参加費はまとめて当会から支払、後日参加者宛に請求することとした。開催日、プログラムは次の通り。
開催日時：2017年11月22日（水）13：30～17：30
場所：高松国際ホテル
会費：￥5,000（テキスト代含む）　官公庁は無料
定員：150名
CPD：4.0単位　土木学会認知CPDプログラム（認定番号　JSCE17-1129）
プログラム
【成果報告会】
・委員長挨拶、趣旨説明　田村　隆弘（高専機構・徳山高専）
・東北復興道路の品質確保・耐久性確保システムの構築・実績と課題
　細田　暁（横浜国立大学）　　佐藤　和徳(日本大学)
・山口県の品質確保システムの現状と課題
　二宮　純(NEXCOエンジニアリング中国)
・各地区での取り組み
（群馬県、沖縄県、新潟県、九州地方整備局、熊本県、JR西日本）
【四国における品質確保に関するシンポジウム】
「四国におけるコンクリートの品質確保を推進するための課題」
登壇者：田村隆弘、細田暁、二宮純、佐藤和徳、他四国内の発注者、施工者、材料、学界等で調整中

詳細は web（四国におけるコンクリートの品質、耐久性確保）でご確認ください。
https://sites.google.com/site/shikokuconcrete/home

その他
・本年度のコンクリート診断士受験の合格者発表があり、高知県からは本年度受験対策に参加された 1 名の方が合格されました。
・11 月 1 日（水）に技術公社で講習会が開催されます。講師として、㈱第一コンサルタンツの前田氏および濱渦氏が参加いたします。
・11 月 17 日（金）に業務体験報告会が名古屋にて開催される。㈱第一コンサルタンツの兵頭氏および原田会長が出席いたします。
・平成 30 年度は設立 10 周年を迎えます。9 月に設立 10 周年記念講演「コンクリート技術研修会」を開催します。それに向けての検討を年明けの役員会にて行います。

2017 年 10 月 31 日
文責：岡林